

情報提供

平成28年1月18日

古川記者クラブ各位

下水道課長

大崎市下水浄化センターにおける下水汚泥の放射性物質
の放射能濃度測定（第56回）結果について

下水汚泥の放射性物質測定結果が出ましたので、お知らせいたします。

記

	採取日	測定日	放射性物質の放射能濃度(単位: ベクレル/kg)				備考	【参考】 (前回のセシウム合計値)
			放射性ヨウ素	放射性セシウム		基準値 134+137 の合計		
			I-131	Cs-134	Cs-137			
師山 浄化センター	1月8日	1月12日	28.1	検出下限値 未満 (8.03 未満)	検出下限値 未満 (5.15 未満)	検出下限値 未満	検出下限値 未満	
岩出山 浄化センター	1月8日	1月12日	検出下限値 未満 (9.93 未満)	検出下限値 未満 (7.33 未満)	8.17	8.17	検出下限値 未満	
鳴子 浄化センター	1月8日	1月12日	検出下限値 未満 (8.32 未満)	検出下限値 未満 (9.60 未満)	検出下限値 未満 (7.04 未満)	検出下限値 未満	検出下限値 未満	
一栗 農集排処理場	1月6日	1月12日	検出下限値 未満 (13.4 未満)	検出下限値 未満 (8.78 未満)	16.0	16.0	11.9	

【大崎市の対応】

毎月1回(15日のある週末を目途に試料採取し)測定を続けるとともに、汚泥をセメント原料として再利用する場合の基準(100 ベクレル/kg 以下) 汚泥を肥料利用する場合の基準(200 ベクレル/kg 以下)等も考慮し、測定結果により発生汚泥の処理に対処しています。

【本件に対する問い合わせ 下水道課 課長 高橋 正幸 □ 52-5842】